

本物は裏切らない ~オールドマスター-西洋絵画の巨匠たち~



両手でコートを押さえている半裸の女性が描かれている。当時の流行である白いダチョウの羽飾りがついたカンカン帽は見方によってボーイッシュな印象を与えている。彼女は男性用の帽子を借りて男装を楽しんでいる。

「羽飾りのある帽子をかぶった若い女性の肖像」(イタリア)
© The State Hermitage Museum, St. Petersburg, 2017-18
ティツィアーノ・ヴェチエッリオ



中心に描かれているハマンはペルシヤ王の右腕だったが、ユダヤ人嫌いでの王の不興をかい、極刑を科されることになった。全体的に暗く、自分の運命を悟り観念したハマンの心理が描かれている。後方の部下の陰しい表情からも内面を知ることができる。

「運命を悟るハマン」(オランダ)
© The State Hermitage Museum, St. Petersburg, 2017-18
レンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン



歴史上の言い伝えを絵にしている。クレオパトラは世俗の財宝や富に頓着しないことを見せるために高価なカップにな真珠の耳飾りを外して、酔の入ったカップに入れて溶かして飲んだという。中心の美しいクレオパトラと周囲の男達が対照的に描かれている。

「クレオパトラの饗宴」(フランドル)
© The State Hermitage Museum, St. Petersburg, 2017-18
ヤーコブ・ヨルダーンス



刺繍の手を休め、少女とは思えない表情で神がいる天に向かって祈りを捧げている。絵が描かれた当時は版画にして絵の数を増やしたため、安い値段で多くの人に出回った。絵を買った人は家に飾り、絵の前で祈りを捧げていた。絵が祈りの仲立ちをしてくれているとも言われていた。当時、文字のわからない庶民のために絵画で宗教を伝えようとした。

「聖母マリアの少女時代」(スペイン)
© The State Hermitage Museum, St. Petersburg, 2017-18
フランシスコ・デ・スルバラ

解説を聞きたい人は注目!!

音声ガイド (550円) があります!!

通常版
オフィシャルサポーターの又吉直樹さん(ピース)がスペシャルナビゲーターをつとめています。

チェブラーシカ版
ロシアの人気キャラクター、チェブラーシカが展覧会を案内をします。



今回のエルミタージュ展は2006年、2012年に続いて3回目ということでエルミタージュ美術館の顔といえる常設展示作品を借りることが出来ました。「盗まれた接吻」は1回目からオファーをされていて、今回やっと許可をもらえた思い入れの深い作品です。大きな作品は想像以上に重く展示するのに時間が掛かりました。

作品を見せる際にバックパネルを使ったり、壁の色も国によって違う色にするなどの工夫をしています。「なぜ自分がこの作品を見てこんな風に思うのか」ということに注目をして絵を見ることが大切です。国ごとに分けて展示をしているので、絵の特徴や違いを比較して見てほしいです。

「絵画を観た人の感想」

美術館展を訪れた人は「エルミタージュは世界3大美術館の一つで、日本では観ることの出来ない絵画を目の前で観られて良かったです。そのため1日2日では全ての作品を観ることは難しい程の数だと思えます。16世紀から18世紀の絵画が好きなので、それらの絵画を多く観ることが出来て、とても満足しました。若いうちに本物の絵画を観ることは大切だと思えます。絵画から自分にとってプラスになる発見をするためにも中高生は是非絵画を観てほしいです」(60代女性)と話してくれました。

大エルミタージュ美術展のペアチケット **プレゼント!!**
(大人1600円、中高生1枚800円) が5組あります。
美術館展に行ってみたいと思う方は北校舎3階新聞部室まで!

東京メトロ日比谷線「六本木駅」1C出口 徒歩0分
都営地下鉄大江戸線「六本木駅」3出口 徒歩4分

アクセス



至 信濃町
至 渋谷
至 池袋
至 有明
至 麻布十番
至 麻布十番

至 信濃町
至 池袋
至 有明
至 麻布十番
至 麻布十番

至 信濃町
至 池袋
至 有明
至 麻布十番
至 麻布十番